



CONTENTS

株主の皆様へ	1
特集	
「ヤマトグループ、21世紀へのチャレンジ」	2
トピックス	5
社会とともに	7
事業概況(連結)	8
事業別レビュー(連結)	9
連結財務諸表の概要	10
個別財務諸表の概要	12
株式の状況	13
会社概要	14
株主インフォメーション	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第138期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、輸出や生産などの指標に改善の兆しが見られ、一時景気回復への期待感が高まりましたが、その後の米国経済を中心とした景気の減速や株式市場の下落の影響を受け、設備投資の後退や輸出にかげりがでるなど、全体として厳しい状況が続きました。

トラック輸送業界におきましても、輸送需要がやや回復してきたものの、価格競争をはじめとした企業間の競争は激しく、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもとで当社は、昨年4月から「ヤマトグループ新生進化3か年計画」をスタートさせ、既存商品の更なる品質向上に努めるとともに、情報システムの抜本的な再構築や、営業所の多店舗化を推進するなど、顧客の利便性の向上に取り組んでまいりました。

営業面におきましては、昨年10月に開始した「SDダイレクト通信」をはじめ、インターネットを活用した各種サービスの提供や、法人顧客のSCMの高度化を支援するため、サービス体制を強化し、法人市場での競争力の向上に取り組むなど、積極的な営業展開により増収に努めてまいりました。

一方では、昨年4月より新しい人事制度を実施し、社員の責任と役割の明確化をはかり、意欲の向上を推進するとともに、本社および主管支店の組織改正を実施するなど、より一層の効率化を目指し、体制整備に努めてまいりました。

その結果、厳しい経営環境ではありましたが、前期に引き続き増収増益と堅調な業績を得ることができました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。この日頃のご愛顧にお応えするため、期末の普通配当金を1円増配し、1株あたり8円とさせていただくこととなりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役社長 山崎 篤